

ケアプランナー・指定相談支援事業所連絡会

執行部 青木裕梨(エコーンファミリー)、萩原ゆりか(ライフサポートりんどう相談室)

川俣伸枝(絆の会相談室)、和田麻奈美(歩楽里)

ケアマネ連絡会担当者 板倉重彦(北部障害者相談支援センター)

熊谷恵子(長野市北部発達相談支援センター)

長野市障害福祉課担当者 立原博之、朝日健一

1 年間テーマ

2 部会等の開催状況

日時		会場	人数 (人)	部会のテーマ	主な内容
月	日				
4	27	長野市役所	26	誰でも研修	・障害福祉サービスについて ・サービス等利用計画作成について
6	21	長野市役所	32	日頃の心配事について、 ケースワークと話そう	・情報提供、事業所紹介 ・【グループワーク】 ケースワーカーと話そう
8	8	長野市役所	35	児から者へ 18歳のライフ ステージ移行の課題について	・情報提供、事業所紹介 ・【グループワーク】 ライフステージ移行の課題について
10	11	長野市役所	30	地域生活支援拠点等について	・情報提供、事業所紹介 【学習会】地域生活支援拠点等について考える 【グループワーク】地域生活支援拠点等について
12	7	長野市役所	31	計画相談支援 ～ニーズの整理について～	・情報提供、事業所紹介 ・【グループワーク】 ニーズ表の整理と活用
2	10	長野市役所	33	令和5年度の振り返り	・情報提供、事業所紹介 【グループワーク】 令和5年度の振り返りとまとめ

3 機関紙、冊子、アンケート調査・行事など報告書

・今年度の振り返りと来年度に向けてのアンケートを実施。

令和5年度 事業報告

4 課題について

(1)主な検討課題

・アンケートの内容、執行部での話し合いをもとに、テーマと実施内容を決めた。

(2)検討の目的と結果(現状)

(3)引き続き検討が必要とされる課題

(4)部会の運営体制について

・ケアマネ、長野市ケースワーカー、相談支援専門員が連携し運営を行なった。4月に「誰でも研修会」を行ない、6月、8月、10月、12月、2月と2か月に1回、計画に沿って開催をした。昨年までは、感染症予防対策の為、zoomの活用や各事業所1名の参加に限定をしていたが、今年度は人数制限をなくし、全て参集型での開催とした。

・各回のテーマは年度末のアンケート結果と執行部での話し合いをもとに設定した。

・執行部は長野市内北部、南部から2名ずつ新旧の調整をしながら選出した。

5 総括(1年間を振り返って)

相談支援専門員が情報を共有出来る場、相談が出来る場として1年間取組みを行なった。

今年度は人数制限をなくし、ひとつの会場に相談員が集まる形をとったことで、ほぼ全ての回でグループワークを実施することが出来た。学習会に加え、各回のテーマごとにグループワークを実施することで、「今、何に困っているか、課題となっているのか」を知り、意見交換では、新たな視点や気づきを得るきっかけにもなった。また、困り感を抱えている相談員や、少人数の事業所に所属する相談員にとっては思いを話し、他者の意見が聞ける有意義な機会になった。

児童から高齢の方まで、多岐に渡るケースの中では、ひとつのテーマに絞って取り上げていくことに難しさもあるが、今年度のようにライフステージ移行の課題、地域生活支援拠点等について、ニーズの整理等、複数のテーマを取り上げていくことで、今後も内容の充実に繋げていきたい。来年度も情報共有とコミュニケーションを取れる場所として、様々なテーマを検討し、前向きな課題解決や日常の相談支援業務にフィードバックをしていきたい。